

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	12-10	
PDCA	主要事業名		産業振興会議運営事業		部課名		市民経済部産業課			担当	321	
											内線	鈴木
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 99 単位施策： —											
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 139 千円											
	会計		一般会計			歳出科目： 06.01.02.02.50						
	事業概要等		事業概要： 官×民から成る常設の「産業振興会議」を設置し、6次産業化の推進や新規起業、業種転換を応援するビジネスチャレンジ制度の創出など、産業界の様々な問題や必要な施策等を議論、検討する中で市独自の経済活性化策を決定する。									
			事業目的： 市独自の経済活性化策などを官民で議論する。									
			事業内容： 市独自の経済活性化策などを議論する場として、官×民から成る「産業振興会議」を立ち上げる。									
			問題点・課題等： 経済施策については、これまで半田商工会議所等に補助することが多く、市独自の施策等： が少なかった。									
	予算額		主要事業とする理由									
	139 千円		本市産業界の様々な問題や必要な施策等を「産業振興会議」において議論・検討する中で市の独自施策を推進していくため。									
	財源内訳											
市費		得られる成果										
139 千円		民間が求めている支援や実施したい施策などを市の独自施策に反映し、推進することができる。										
国費												
0 千円		目標値や目指すべき状態										
0 千円						令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位			
		会議開催数		実績値	—	—	—	回				
その他				目標値	—	—	3	回				
				実績値								
				目標値								
				実績値								
0 千円				目標値								
D と得られた成果	決算額		得られた成果									
	207 千円		農商工業の関係者や学識経験者等が共通のテーマで議論するという、これまでにない取組であったが、半田市のポテンシャルや各分野の抱える課題等を共有することで、産業振興に向けた幅広い意見を聴取することができた。									
			成果指標					令和4年度	単位			
			会議開催数		実績値	6	回					
				目標値	3	回						
C 課題の整理	事業の評価・課題		C 委員からの意見を基に、働く人と、企業に対して、産業振興に繋がる短期、中期、長期の支援に取り組んでいくことで、半田に魅力ある企業が増え、最終的には「事業者の元気」で「半田市を元気にする」を目標とした。その目標を達成するため、短期的な取組として、事業者を元気にする重要な要素の一つである「人材」に着目し、人材獲得のための分科会を立ち上げた。また、次世代を担う若い事業者の可能性を高め、新しい発想を持ってビジネスに挑む環境をつくるため、未来志向の勉強会を立ち上げた。									
A 今後課題の解決に向けた	今後の事業の方向性		拡充推進 令和5年度について、「人材獲得のための分科会」では人材に関するアンケート調査、「未来志向の勉強会」では、事業者の元気創出に向け、イノベーションや社会的な価値創造の機運を高めるため、柔軟な思考を持った未来志向の経営者等を増やすことを目的に勉強会を実施する。また、アンケート調査等の意見を産業振興会議にフィードバックしながら、事業者を元気にするための支援策を検討する。									
	観点別評価		必要性		有効性			効率性				
			①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 余地	ある						
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある			⑧受益者負担適正化余地	—					
		③休廃止の影響 小さい	⑥類似事業の有無 ない									

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用